

今成座長配布資料

オーストラリアの スタンダードドリンク表示とその背景

アルコール国家戦略 National Alcohol Strategy 2006 - 11

年間に推定3200人が過飲によって死亡、8万1000人が入院、153億万ドルの社会的費用を生じている状況をふまえ、オーストラリアのハイリスクなアルコール消費パターンを予防するために策定された。「酩酊」「公共の安全と快適さ」「健康への影響」「文化的な場と入手性」の4つの重点項目が設けられている。

※薬物国家戦略(2010-15)に従い、アルコール委員会が新戦略を策定中。

ビンジドリンキング国家戦略 National Binge Drinking Strategy

2008 - 11年、政府は1億3450万ドルを投入。健康省は、ビンジドリンキングを助長する環境を変えるために、地方政府、スポーツ団体、警察、民間団体との連携を強化した。2010 - 14年、政府は5000万ドルを若者向け早期介入プログラムに投入。2013年、ビンジドリンキングの結末とコストを知らせる広告キャンペーン「夜を悪夢にしないで」を開始した。現在、この戦略は、国立予防健康機構に引き継がれている。

「ハロー、日曜の朝」 Hello Sunday Morning (HSM)

二日酔いのない日曜の朝を迎えるための啓発キャンペーン
スマホアプリ オンライン・コミュニティなど

「女性たちは知りたい」 Women Want to Know

妊娠とアルコールについての啓発キャンペーン

一般向けのリーフレットとビデオ、援助職向けのeラーニングコースなど

その他、
実施中の
キャンペーン

スタンダードドリンク

1 standard drink = 純アルコール10g



1

30ml

High Strength
Spirit Nip
40% Alc Vol



1.5

375ml

Full Strength
Pre-mix Spirits
5% Alc Vol



1.4

375ml

Full Strength
4.8% Alc Vol



0.8

375ml

Low Strength
2.7% Alc Vol



1

375ml

Mid Strength
3.5% Alc Vol



1.1

285ml

Full Strength
4.8% Alc Vol



1.6

425ml

Full Strength
4.8% Alc Vol



1.5

150ml

Average
Restaurant Serving
of Red Wine
13% Alc Vol



1.4

150ml

Average
Restaurant Serving
of White Wine
11.5% Alc Vol



1.4

150ml

Average Restaurant
Serve of Champagne
12% Alc Vol

These are only an approximate number of standard drinks.
Always read the container for the exact number of standard drinks.

オーストラリア 酒類ラベルのスタンダードドリンク表示

1 standard drink = 純アルコール10g



Food labelling laws

Standard Drink Labelling – Standard 2.7.1

0.5%超のアルコール飲料に表示する規定

ロゴデザインは酒類業界が2006年に自主導入

オーストラリアのアルコール・ガイドライン

飲酒の健康リスクを減らすために

The National Health and Medical Research Council (NHMRC), 2009

ガイドライン1 アルコール関連障害の生涯リスクを減らす

アルコール関連障害の生涯リスクは、飲酒量に比例して増加します。健康な男女にとっては、1日に2ドリンクを超えて飲まないことで、アルコール関連の病気や傷害などの障害を受ける生涯リスクを減らすことができます。

ガイドライン2 単発の飲酒機会における傷害のリスクを減らす

単発の飲酒機会において、アルコール関連の傷害は、飲酒量に比例して増加します。健康な男女は、1度に4ドリンクを超えて飲まないことで、その単発の機会におけるアルコール関連の傷害のリスクを減らすことができます。

ガイドライン3 子どもと18歳未満の若者

子どもと18歳未満の若者は、飲酒しないのが最も安全な選択です。
A 保護者は、15歳未満の子どもの飲酒は障害への最大のリスクであり、この年齢の子どもには飲酒させないことがことさら重要であることを、心しなければいけません。
B 15～17歳の若者には、初飲時期をできるかぎり遅らせることが最も安全な選択です。

ガイドライン4 妊娠・授乳期

妊娠・授乳期の飲酒は、発達中の胎児や乳児に障害を与えるおそれがあります。
A 妊娠中または妊娠を計画している女性は、飲酒しないのが最も安全な選択肢です。
B 授乳期の女性は、飲酒しないのが最も安全な選択肢です。